

防ごう!! RSウイルス・インフルエンザウイルス!

RSウイルスはインフルエンザより早い時期に流行します。
大人であれば風邪の症状ですみませんが、新生児や乳幼児期にかかると重症化することがあります。
インフルエンザは冬に流行ります。乳幼児から高齢者まで年齢を問わず多くの人が感染します。
RSウイルスやインフルエンザウイルスは咳や飛び散った唾液などから感染します。



かからないためには

- 手洗いやうがいを
行いましょう。



- 流行時には人が多い場所は
避けましょう。
- 外出時にはマスクをしましょう。
- 家族や身近な人に
症状があれば、
早めにマスクをしましょう。
- マスクは正しく使いましょう。しっかり
おおって汚れたら交換しましょう。



- 栄養を充分にとり
体力・抵抗力を
高めましょう。



うつさないためには

- 咳や熱がある時は
マスクをしましょう。



- 小さいお子さんには
接しないようにしましょう。
- お世話をしないといけない時は
接する前に必ず、
手洗いをしましょう。
- 咳が出る時は
ティッシュなどでおおきましょう。
- 発症しているお子さんの
おもちゃなどは専用に使しましょう。



インフルエンザを予防するために、早めに予防接種を受けましょう。

●公開講座案内●

地域の方対象 公開講座

地域住民公開講座

平成31年2月7日(木)

14:00~15:30

会場:香芝市総合福祉センター多目的室
(香芝市逢坂一丁目374番地1)

「心臓血管外科専門医がわかりやすく解説
する心臓病と足の血管病のはなし」

西和医療センター 心臓血管外科部長
田村大和

「高血圧ってどうして治療
が必要なのですか?とい
う疑問に答える血圧の
はなし」

西和医療センター 副院長 土肥直文



医療職の方 対象の講座

地域医療連携講座(当院にて)

11月15日(木)

泌尿器科部長 大山 信雄

夜間頻尿

12月20日(木)

小児科部長 高塚 英雄

小児気管支喘息の治療と管理

(ガイドライン2017の改定を含め)

放射線科医長 前田 新作

リンパ系IVRの最近の進歩

—乳び胸腹水治療を中心に—

平成31年1月17日(木)

眼科部長 岡本 全弘

色覚異常について

耳鼻咽喉科部長 金田 宏和

めまいと難聴



*変更の可能性もあります。詳細はお問い合わせ下さい。

<当院へのアクセス>



地域医療支援病院として、地域と力を合わせて、これまで以上に地域包括ケア・在宅医療の推進にも力をいれて取り組んでいきたいと思っています。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様に関心情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成30年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

